



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年2月4日

上場会社名 カネソウ株式会社

上場取引所 名

コード番号 5979 URL <http://www.kaneso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 健治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 南川 智之

TEL 059-377-4747

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	4,791	13.2	143	46.1	116	50.4	69	55.6
2020年3月期第3四半期	5,520	3.1	266	49.3	235	52.1	156	63.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	48.75	
2020年3月期第3四半期	109.72	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,690	13,640	86.9
2020年3月期	15,919	13,782	86.6

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 13,640百万円 2020年3月期 13,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		75.00		75.00	150.00
2021年3月期		75.00			
2021年3月期(予想)				75.00	150.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,750	11.4	360	36.8	320	39.2	210	40.7	147.50

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,440,000 株	2020年3月期	1,440,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	16,290 株	2020年3月期	16,290 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,423,710 株	2020年3月期3Q	1,423,710 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における国内経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で内外経済活動の縮小や社会活動の制限により、急速に悪化した後、拡大防止に向けた取り組みが続く中での、制限の緩和などから、個人消費や生産の一部に持ち直しの動きが見られるようになりました。しかしながら、感染症の再拡大、長期化により、先行きは混迷を深める状況となりました。当社の主要な市場であります建設関連業界におきましては、建設着工の減少や工事の一部停止、及び民間設備投資が慎重なものとなるなど、受注環境は低位な状況となりました。また、材料価格をはじめとするコスト環境は、比較的安定したものの、労働環境への影響など、取り巻く市場全体の事業環境は厳しい状況にあります。その結果、売上高は、47億91百万円（前年同四半期比13.2%減）となりました。製品分類別における状況は次のとおりであります。

鋳鉄器材は、外構、街路関連工事が低位であったことから、外構・街路関連製品が減少し、建築工事関連も建築着工が低調な状況が続きましたことから、雨水排水・防水関連製品が減少し、13億5百万円（同10.5%減）となりました。

スチール機材は、設備投資の減少や土木工事関連の納入が低位な状況が続いていることから、外構・街路関連製品などが減少し、8億28百万円（同5.5%減）となりました。

製作金物は、上期における工事の進捗により防災関連製品の納入が進みましたが、下期における工事量の減少により低下し、建築工事も低調な状況が続き、建築金物が減少し、外構、街路等景観整備工事も低調な状況から、外構・街路関連製品が減少したことが影響し、23億72百万円（同16.1%減）となりました。

その他鑄造製品は、公共投資が低位ながら、土木需要がやや改善し、建機、機械向け製品も納入先の生産調整から大幅に減少しましたが、やや需要が戻る状況となり、2億84百万円（同20.4%減）となりました。

利益につきましては、感染症拡大が収まらない中で、市場環境の停滞が続き、需要の回復が遅れていることから、売上や生産が低位にあり、厳しいものとなりました。その結果、売上総利益は、16億58百万円（同11.8%減）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、一部の費用負担の増加はありますが、全般的に支出が低下しました。その結果、営業利益は1億43百万円（同46.1%減）となりました。営業外損益につきましては、低金利の環境が進む状況にあることから、収益の低い状況が続きました。その結果、経常利益は1億16百万円（同50.4%減）となり、四半期純利益は69百万円（同55.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間の財政状態は、総資産は前事業年度末に比べ2億29百万円減少し156億90百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ1億64百万円減少し120億27百万円となりました。その主な要因は、製品が1億28百万円、仕掛品が48百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が2億90百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ64百万円減少し36億63百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の機械及び装置が98百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ87百万円減少し20億50百万円となりました。その主な要因は、流動負債の未払法人税等が1億56百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1億42百万円減少し136億40百万円となりました。その主な要因は、四半期純利益の計上が69百万円ありましたが、剰余金の配当が2億13百万円あったこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済活動が回復に向かいつつある中で、新型コロナウイルス感染症が更に拡大しており、収束の見通しが立たない状況となりました。再び経済や社会活動の制限など影響が長引くことが懸念され、景気の先行きは、いまだ不透明な状況にあります。建設関連業界におきましても、再び新規建設着工の遅れや民間設備投資の見直し、減少が懸念され、厳しい事業環境が続くものと予想されます。市場における需要は依然、弱い状況にあることから、業務の効率化と生産性の向上により、収益力の改善を図り、顧客ニーズに沿った新製品の開発や受注の確保に努めてまいります。また、こうした環境が長期化していくことに対して、コストの増加も見込まれますことから経費節減等にも努め、引き続き防疫対策を整え、収益の確保、改善に取り組んでまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,289,824	8,233,279
受取手形及び売掛金	1,305,377	1,015,311
電子記録債権	208,630	165,324
有価証券	1,300,000	1,300,000
製品	531,375	660,238
仕掛品	118,043	166,437
原材料及び貯蔵品	433,962	467,229
その他	17,240	29,266
貸倒引当金	△12,451	△9,743
流動資産合計	12,192,004	12,027,344
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,732,878	1,732,878
その他(純額)	1,573,059	1,495,044
有形固定資産合計	3,305,938	3,227,923
無形固定資産	40,629	50,033
投資その他の資産		
投資有価証券	61,060	62,920
その他	332,306	334,346
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	381,367	385,266
固定資産合計	3,727,934	3,663,222
資産合計	15,919,938	15,690,567
負債の部		
流動負債		
買掛金	310,107	323,113
未払法人税等	169,396	12,844
賞与引当金	58,308	19,630
その他	246,753	308,142
流動負債合計	784,566	663,730
固定負債		
退職給付引当金	296,945	309,093
役員退職慰労引当金	479,223	495,543
その他	576,735	582,066
固定負債合計	1,352,905	1,386,703
負債合計	2,137,471	2,050,433

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金	1,320,000	1,320,000
利益剰余金	10,702,778	10,558,630
自己株式	△69,828	△69,828
株主資本合計	13,772,950	13,628,801
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,516	11,331
評価・換算差額等合計	9,516	11,331
純資産合計	13,782,467	13,640,133
負債純資産合計	15,919,938	15,690,567

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	5,520,509	4,791,468
売上原価	3,639,550	3,132,968
売上総利益	1,880,958	1,658,500
販売費及び一般管理費	1,614,273	1,514,697
営業利益	266,685	143,803
営業外収益		
受取利息	1,274	1,021
受取配当金	2,221	2,061
不動産賃貸料	14,005	14,168
その他	2,290	1,869
営業外収益合計	19,792	19,121
営業外費用		
支払利息	8,452	8,572
売上割引	39,555	34,761
その他	3,076	2,885
営業外費用合計	51,084	46,219
経常利益	235,392	116,704
税引前四半期純利益	235,392	116,704
法人税、住民税及び事業税	63,123	31,741
法人税等調整額	16,053	15,554
法人税等合計	79,177	47,296
四半期純利益	156,214	69,408

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。